

# BELLUNA

証券コード：9997

お客様の衣食住遊を豊かにする

## Business Report

株式会社ベルーナ

### 第43期 株主通信

2018年4月1日～2019年3月31日





第三次経営計画で掲げた目標に向かい  
主力4事業は着実に成長・強化を果たしました。  
第四次経営計画で臨む次期からも  
さらに結果にこだわってまいります。

代表取締役社長 **安野 清**

■ 当社グループを取り巻く市場環境

日本経済は、緩やかな回復基調を持續しておりましたが、一方で景気回復と人口減少の両面から、労働需給はひっ迫した状況が続くことが見込まれ、また米中貿易摩擦の長期化等に伴う中国経済の減速を背景に外需の牽引力

が低下するなど、先行きは不透明な状況が続いています。

通信販売業界におきましては、電子商取引(EC)の急成長により市場の拡大は続いているものの、消費者の節約志向は根強く、また配送コストの上昇や天候不順、自然災害の頻発など厳しい状況にあります。

■ 当期の概況

当期の連結売上高は、さが美グループホールディングス(株)を傘下に加えた店舗販売事業、化粧品事業を中心に好調に推移した専門通販事業、通販代行サービスが堅調に推移したソリューション事業等で数字を伸ばし1,776.5億円(前年同期比9.9%増)となりました。営業利益は120.1億円(同7.7%減)、為替関連損益が大きくプラスとなったことから経常利益は153.1億円(同15.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は103.4億円(同7.0%増)と増益となりました。

財政状態に関しましては、負債が前連結会計年度末より103.7億円増加し、1,132.5億円となっております。一方、総資産は178.4億円増加し、2,137.9億円に達しております。その結果、純資産は74.8億円増加の1,005.3億円となり、自己資本比率は前期とほぼ同等の46.7%となりました。

■ 第三次経営計画の振り返り

2017年3月期から3期にわたり、“通信販売総合商社”として進化を果たすために掲げてきました第三次経営計画は最終年度を終えました。営業利益こそ目標未達となったものの、売上とROEについては一期前倒しで当初の目標を達成することができました。

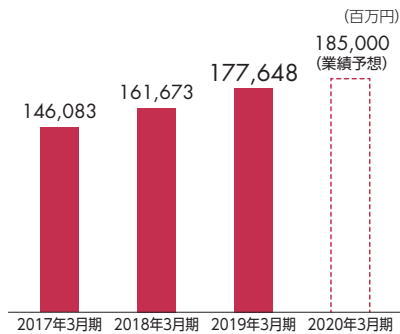
注力してまいりました主力4事業での成果をご説明させていただきますと、「総合通販事業」では、配送料の値上げなど当初想定していない外部環境の変化はあったものの、ネット強化に積極的に取り組んだことで、売上、利益ともに安定的な成長を果たすことができました。

「専門通販事業」につきましてもグルメ事業、ワイン事業、化粧品通販事業、看護師向け通販事業を中心に商品開発、ネット強化に取り組み成果を上げました。

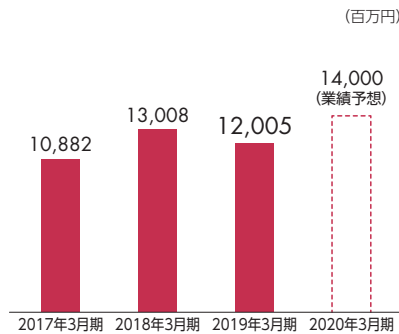
新規出店による拡大を目指してまいりました「店舗販売事業」でも、和装事業のBANKANわものやが店舗数を

Financial Highlights 財務ハイライト

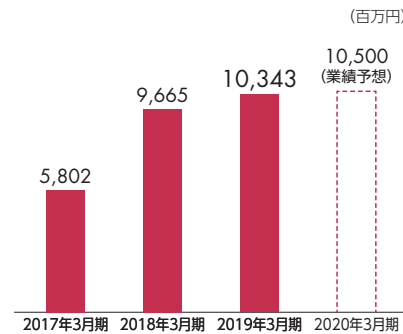
■ 売上高



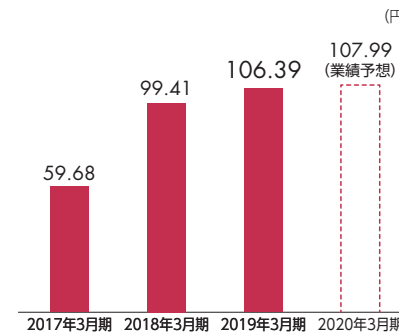
■ 営業利益



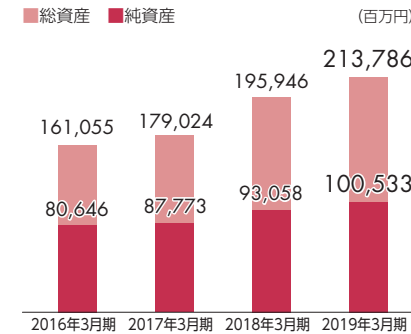
■ 親会社株主に帰属する当期純利益



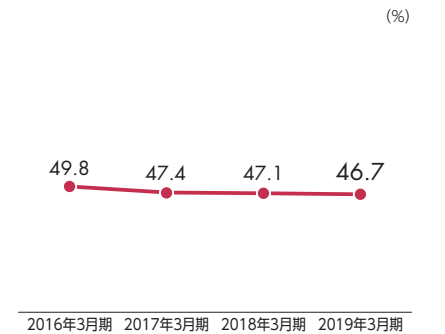
■ 1株当たり当期純利益



■ 総資産・純資産



■ 自己資本比率



86店舗まで拡大、またM&Aでさが美グループホールディングス(株)をグループに加えました。アパレル店舗事業も黒字化を果たし店舗数は75店舗となりました。

「プロパティ事業」では、賃貸事業において安定的に収益を伸ばすとともに、ホテル事業ではホテル数を7つに拡大。事業の強化は進み、第四次経営計画への土壌づくりができました。

### ■ 第四次経営計画の概要

次期からの第四次経営計画では、消費環境の変化、送料の値上げ、ネットの伸長といった外部環境の変化への対応を意識しながら、カタログ販売の拡大、ネット強化などによる「総合通販事業の安定的な成長」、商品開発力を磨きEC比率を高める施策などを通じた「専門通販事業の拡大」、BANKANわものやさが美グループによるシナジー効果を作り出すことなどによる「店舗販売事業の拡大と収益改善」、稼げるホテルを中心にした「プロパティ事業の強化」の主力4事業の拡大を目指してまいります。

最終年度である2022年3月期に達成を目指す業績目標としましては、売上高2,200億円(年平均成長率7.4%)、営業利益200億円(年平均成長率18.5%) ROEの10%以上の確保を設定しております。

### ■ 次期の見通し

2020年3月期は、売上高1,850億円、営業利益140億円、経常利益150億円、親会社株主に帰属する当期純利益は105億円を見込んでおります。

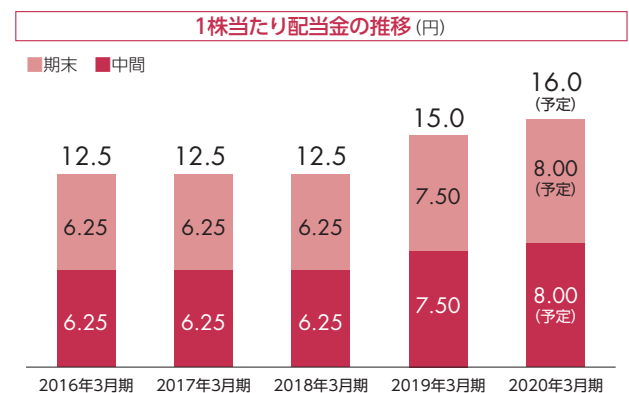
第四次経営計画では、これまで以上に結果にこだわり、毎期の目標を着実にクリアし最終目標の達成はもちろんさらなる上方修正を目指します。

新たなスタートとなりますが、収益性と成長性の両立に努め、「通信販売総合商社」としてのさらなる成長を図っていきます。

### ■ 株主還元について

当社は、企業価値の向上を通して株主の皆様の厚いご支援にお応えすることに大きな価値を置いております。当期の配当につきましては、期末配当を1株につき7.50円とし、中間配当の7.50円と合わせ年間配当金は15.0円となります。次期につきましては、1.0円増配の年間配当16.0円を予定しております。

今後も多角的なアプローチで新たな付加価値を創造し、進化を続けていきます。株主の皆様におかれましては、当社グループへの変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 第四次経営計画 2020年3月期～2022年3月期

最終年度目標

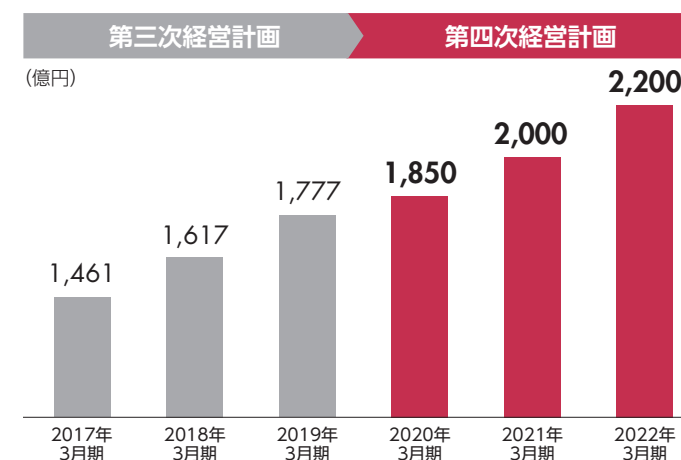
**売上高**  
**2,200億円**  
(年平均成長率7.4%)

**営業利益**  
**200億円**  
(年平均成長18.5%)

**ROE**  
**10%以上**確保

売上高の推移

### 着実に達成していきながら上方修正を目指す



第三次経営計画では過去最高の売上、利益を達成することができた

第四次経営計画について外部環境の変化を織り込み、目標達成へ向けた土壌を構築

第四次経営計画は売上と営業利益の目標を着実に達成する

主力4事業の拡大

- 1 総合通販事業の安定的な成長
- 2 専門通販事業の拡大
- 3 店舗販売事業の拡大と収益改善
- 4 稼げるホテルを中心にしたプロパティ事業の強化

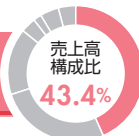
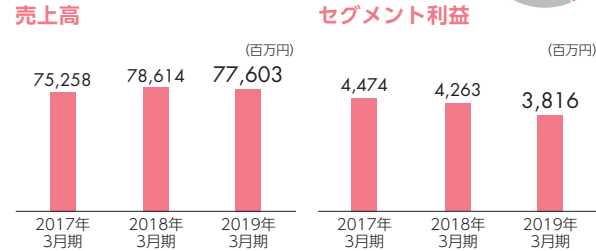
# Summary of Consolidated Results 連結業績の概況

## 総合通販事業

▶ カタログやインターネットなどを媒体とする衣料品・生活雑貨・家具等生活関連商品の販売および関連事業



配送料値上げなどの影響により、売上高は776.0億円(前年同期比1.3%減)となり、セグメント利益は38.1億円(同10.5%減)となりました。

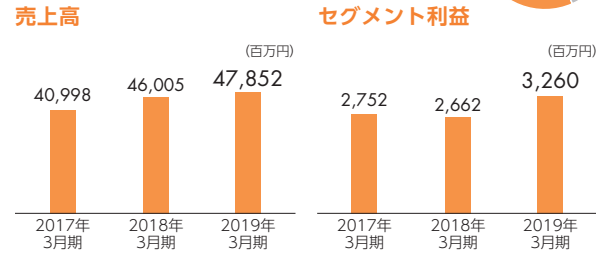


## 専門通販事業

▶ 食料品・化粧品・健康食品の販売など、特定のお客様を対象として専門的に商品を販売している事業



(株)ベストサンクスの事業撤退や配送料値上げなどの影響があったものの、化粧品事業を中心に好調に推移し、売上高は478.5億円(同4.0%増)となり、セグメント利益は32.6億円(同22.4%増)となりました。

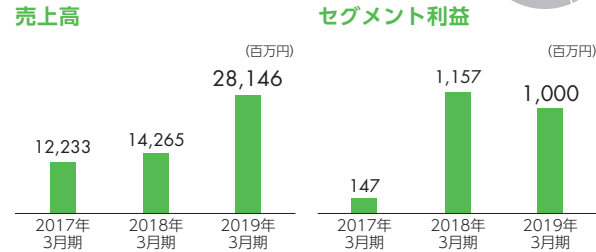


## 店舗販売事業

▶ 衣料品・和装関連商品等の店舗販売事業



さが美グループホールディングス(株)を新たに連結グループに加えたことにより、売上高は281.4億円(同97.3%増)となりました。一方で、新規出店費用などの影響により、セグメント利益は10.0億円(同13.6%減)となりました。

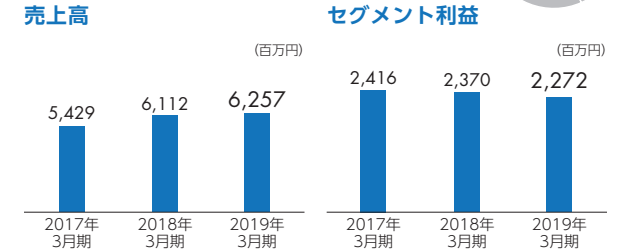


## ソリューション事業

▶ 封入・同送サービスや通販代行サービスなど、当社グループのデータベースやインフラを活用した受託事業



大口クライアントの取引縮小で封入・同送サービスが苦戦したものの、通販代行サービスが堅調に推移し、売上高は62.5億円(同2.4%増)となりました。一方で、看護師向け転職支援サービス事業開始に伴う先行投資などにより、セグメント利益は22.7億円(同4.1%減)となりました。

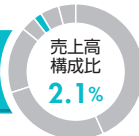
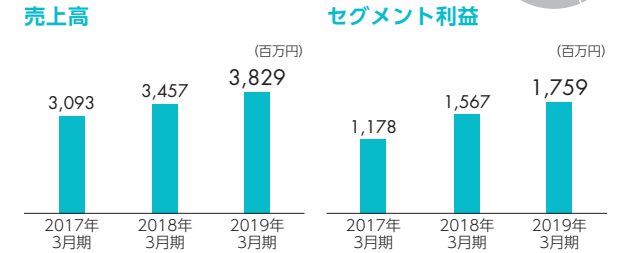


## ファイナンス事業

▶ 通信販売事業の顧客を中心に展開するB to Cファイナンス事業



国内消費者金融事業の貸付金残高を伸ばしたことにより、売上高は38.2億円(同10.8%増)、セグメント利益は17.5億円(同12.3%増)となりました。

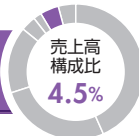
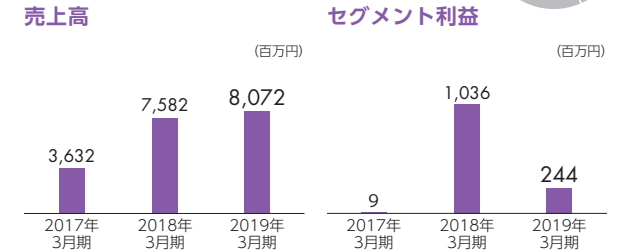


## プロパティ事業

▶ オフィスビルなどの賃貸および再生・開発を手掛ける不動産事業、およびホテル事業



新規ホテルの開業に伴い売上が増加したものの開業費用の影響もあり、売上高は80.7億円(同6.5%増)となり、セグメント利益は2.4億円(同76.4%減)となりました。



## Focus! 新ブランドカタログ「GeeRA」誕生

# 20～30代の大人女子向け通販ブランド「RyuRyu」が「GeeRA」と名前を変えリニューアル!

トレンドど真ん中の“本当に着たい服”を手頃な価格で――。

「凄い輝き」を意味する“Gee! Radiant.”という言葉から命名された新カタログを通じて、纏えば1日中幸せを感じることができ、全ての女性が生き生きと輝ける洋服をお届けしてまいります。

当社が展開してきた20～30代の大人女子向け通販ブランド「RyuRyu (リュリュ)」が2019年1月、名前を「GeeRA (ジーラ)」と変え生まれ変わりました。身に纏うだけで1日中幸せを感じられるような、全ての女性が生き生きと輝く洋服を届けたい――そんな思いが込められた「GeeRA」は、“Gee! Radiant.” (凄い輝き) という言葉から命名されています。

「GeeRA」のコンセプトは「トレンドど真ん中の商品をお手頃価格で」「20～30代の大人女子のためのファストファッション」。着回ししやすいベーシックなスタイルから、トレンド感のある旬なスタイルまで、20～30代の大人女子の“本当に着たい”を叶えるこだわりの詰まったワードローブをお手頃な価格からご提案していきます。

「GeeRA」は年5回 (春・夏・盛夏・秋冬・冬) の発行を予定。第2号となる夏号では表紙に堀田茜さんを迎え、「きらめきをプラス! ドラマティック夏服」[この夏、とっておきのインスタ映え服]「夏を盛り上げるsummer COLOR STYLING」[Under3,900円! 大人のコスパ名品] など盛りだくさんの企画が組まれています。



### 「GeeRA」の3つの特長

#### 特長 1

**最先端のトレンドを意識した商品づくり**

最新トレンドを商品に活かすため、海外の現地情報を定期的に取り入れています。

#### 特長 2

**品揃えの幅広さ**

ベーシックからトレンドまで幅広いテイストの商品を取り揃え、多くのお客様に親しまれるブランドを目指しました。

#### 特長 3

**お手頃価格**

全ての女性に様々なデザインを着て楽しんでもらいたいという思いから、高品質で低価格な商品を実現させました。



## News & Topics ニュース&トピックス

### 私らしく輝ける服を親しみやすい価格で「Ranan」が初のリアル店舗を銀座にオープン!

当社の大人の女性向け通販ブランド「Ranan (ラナン)」は、ブランド初となるリアル店舗を、2019年3月に銀座インズ (東京都中央区) 内にオープンしました。「Ranan」は30～40代の女性をターゲットに、アパレル品から服飾雑貨まで幅広く取り揃えた「いつまでも輝き続けられる大人の女性でいてほしい」という思いが込められたブランドです。

今回初めてオープンしたリアル店舗では、「どんなシーンでも「私らしく輝ける服」というコンセプトのもと、スーツやジャケット、ワンピースといったきちんとスタイルから、カジュアルな休日スタイルまで、大人女子が毎日輝ける服や雑貨を親しみやすいプライスで提案しています。



### 「裏磐梯レイクリゾート五色の森」が「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」に

2018年12月、「第44回プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」の施設部門で当社子会社の株式会社グランベルホテルが運営する「裏磐梯レイクリゾート五色の森」(福島県北塩原村)が選ばれました。「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」は観光業界で最も歴史のあるランキングイベントで全国の旅行会社の推薦投票で選出するものです。「裏磐梯レイクリゾート」では今回の受賞を記念して、夕食バイキングに飲み放題がセットになった特別プランを2019年9月30日まで販売しています。



### 「犬たちと一緒に」。看護師向け通販ナースリーが社会貢献への一歩を促す取り組みをスタート

子会社である株式会社ナースステージでは、災害救助犬の育成や派遣捜索活動への支援を目的に誕生した認定NPO法人日本レスキュー協会公認ブランド「グレートバディ」の医療ウェア・シューズ・グッズをリリースしました。「グレートバディ」のブランドロゴ使用料の一部が、日本レスキュー協会の運営・活動費に充てられます。「お買いものから始まる社会貢献活動を、犬たちと一緒に始めてみましょう!」という、ナースリーから看護師・医療従事者の皆さまに向けての提案です。



## 優待内容

### 1 優待券、優待クーポンまたは自社取扱商品から選択

①当社運営の通信販売で使用できる優待券 ②ペルーナネットで利用できる優待クーポン ③自社取扱の食品またはワイン



### 2 「裏磐梯レイクリゾート(旧裏磐梯猫魔ホテル)」で利用できる宿泊優待券

### 3 「ルグラン旧軽井沢」で利用できる宿泊優待券



保有株式数	1 優待券または自社取扱商品から選択	2 裏磐梯レイクリゾート優待券	3 ルグラン旧軽井沢優待券 <sup>*3</sup>
100株以上 500株未満	①1,000円分の通信販売 <sup>*1</sup> 優待券 ②1,000円分のネット専用優待クーポン ③1,000円相当の自社取扱の食品またはワイン <sup>*2</sup>	宿泊優待券1枚	宿泊優待券1枚
500株以上 1,000株未満	①3,000円分の通信販売 <sup>*1</sup> 優待券 ②3,000円分のネット専用優待クーポン ③3,000円相当の自社取扱の食品またはワイン <sup>*2</sup>	宿泊優待券2枚	宿泊優待券1枚
1,000株以上	①5,000円分の通信販売 <sup>*1</sup> 優待券 ②5,000円分のネット専用優待クーポン ③5,000円相当の自社取扱の食品またはワイン <sup>*2</sup>	宿泊優待券4枚	宿泊優待券1枚

\*1 衣料品、生活雑貨、家具等を販売する総合通販をご利用いただけます。

\*2 自社取扱の食品またはワインは、当社が選定した商品をお送りいたします。商品をカタログから選ぶことはできません。

\*3 ルグラン旧軽井沢の宿泊優待券は、年1回(12月上旬発行分)のみの贈呈となります。 \*4 株主優待のご利用方法の詳細については、贈呈時にご案内いたします。

発送時期・有効期限		
	発送時期	有効期限
中間	12月上旬	12月1日～6月30日
期末	6月下旬	7月1日～12月31日

対象となる株主様
毎年3月末および9月末の株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1単元)以上保有の株主様

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 2018年3月31日現在	当連結会計年度 2019年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	89,989	99,244
固定資産	105,956	114,542
有形固定資産	75,549	83,204
無形固定資産	11,737	11,253
投資その他の資産	18,670	20,084
<b>1 資産合計</b>	<b>195,946</b>	<b>213,786</b>
<b>負債・純資産の部</b>		
流動負債	42,331	53,463
固定負債	60,556	59,790
<b>2 負債合計</b>	<b>102,888</b>	<b>113,253</b>
株主資本	93,374	102,215
資本金	10,607	10,612
資本剰余金	10,958	10,954
利益剰余金	71,809	80,816
自己株式	△0	△167
その他の包括利益累計額	△1,029	△2,385
非支配株主持分	713	703
純資産合計	93,058	100,533
負債純資産合計	195,946	213,786

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

## POINT

### 1 資産合計

前期末に比べ17,840百万円増加しました。これは主に、流動資産における営業貸付金、商品及び製品、仕掛販売用不動産、その他の流動資産が増加、固定資産における建物及び構築物、土地、その他投資が増加したことによるものです。

### 2 負債合計

前期末に比べ10,365百万円増加しました。これは主に、流動負債における支払手形及び買掛金が減少、短期借入金、未払法人税等、未払費用、その他負債が増加したことによるものです。

### 3 売上高

店舗販売はさが美グループホールディングス(株)を新たに連結グループに加えたこともあり増収、専門通販は(株)ベストサンクスの事業撤退の影響があったものの、化粧品通販のオージオや看護師向け通販などが増収を牽引し、前年比9.9%増となりました。

### 4 営業利益

専門通販は看護師向けの収益改善や化粧品オージオの増収効果などにより増益、総合通販は媒体費の増加や配送料の値上げなどの影響により減益、プロパティは3ホテルの開業コストなどにより減益となり、前年比7.7%減となりました。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 2017年4月1日～ 2018年3月31日	当連結会計年度 2018年4月1日～ 2019年3月31日
<b>3 売上高</b>	161,673	177,648
売上総利益	89,897	101,364
販売費及び一般管理費	76,889	89,359
<b>4 営業利益</b>	13,008	12,005
営業外収益	2,324	3,718
営業外費用	2,084	414
経常利益	13,248	15,309
特別利益	1,092	414
特別損失	606	255
税金等調整前当期純利益	13,734	15,468
法人税、住民税及び事業税	3,917	5,476
法人税等調整額	130	△308
当期純利益	9,686	10,300
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	20	△43
親会社株主に帰属する当期純利益	9,665	10,343

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 2017年4月1日～ 2018年3月31日	当連結会計年度 2018年4月1日～ 2019年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,924	8,558
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,853	△12,724
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,942	3,577
現金及び現金同等物に係る換算差額	△401	△88
現金及び現金同等物の増減額	2,612	△677
現金及び現金同等物の期末残高	22,028	21,351

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

詳細な財務情報は、当社Webサイト「株主・投資家情報」をご覧ください。

ペルーナ IR

検索

## ■ 会社概要

会社名	株式会社ベルーナ (Belluna Co., Ltd.)		
資本金	106億12百万円		
創業	1968年9月		
設立	1977年6月		
従業員数	3,134名 (連結)		
事業内容	カタログ等による通信販売を核に、受託、金融、卸売等の分野で展開する通信販売総合商社		

## ■ 役員

代表取締役社長	安野 清	取締役	松田 智博
取締役	安野 雄一郎	取締役 (監査等委員)	萩原 康雄
取締役	穴戸 順子	社外取締役 (監査等委員)	渡部 行光
取締役	生川 雅一	社外取締役 (監査等委員)	山縣 秀樹
取締役	下川 英士		

## ■ 主な事業所

本社	(埼玉県上尾市)
本館	(埼玉県上尾市)
東京本部	(東京都中央区)
渋谷オフィス	(東京都渋谷区)
アネックスビル・第2アネックスビル	(埼玉県上尾市)
北関東支店	(埼玉県鴻巣市)
川越オーダーレセプションセンター	(埼玉県川越市)
春日部オーダーレセプションセンター	(埼玉県春日部市)
吉見ロジスティクスセンター	(埼玉県吉見町)
領家丸山流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
領家山下流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
宇都宮流通システムセンター	(栃木県鹿沼市)

## ■ 株式の状況

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数	97,244,472株
株主数 (除く自己名義)	9,108名

## ■ 大株主

	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社フレンドステージアセットマネジメント	33,920	34.9
安野 清	9,938	10.2
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	6,582	6.7
常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行		
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	5,782	5.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,015	3.1
安野 公	2,914	3.0
株式会社三井住友銀行	2,246	2.3
野村信託銀行株式会社 (退職給付信託三菱東京UFJ銀行口)	1,968	2.0
ベルーナ共栄会	1,648	1.6
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,546	1.5

※持株比率は自己株式(186,254株)を控除して計算しています。

## ■ 所有者別株式分布状況

金融機関	個人投資家	事業会社	外国人
20.7%	21.7%	37.6%	20.0%

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

配当金受領 期末配当金 3月31日

株主確定日 中間配当金 9月30日

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 3月31日

株式の売買単位 100株

電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることのできない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

公告の方法

公告掲載 URL  
<https://www.belluna.co.jp/irinfo/stock/announcement/>

株主名簿管理人  
 特別口座の口座  
 管理機関

みずほ信託銀行株式会社

株主名簿管理人  
 事務取扱場所

東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社  
 本店証券代行部

郵便物送付先  
 および  
 お問い合わせ先  
 上場金融  
 商品取引所

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
 TEL 0120-288-324(フリーダイヤル)

東京証券取引所市場第一部

株式会社 **ベルーナ**

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4番2号

TEL 048-771-7753 (代表) <https://www.belluna.co.jp/>

